

令和7年度 第1回 亀玉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月22日（火） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 亀玉小学校 会議室
- 3 出席委員 太田富次郎、渡邊剛一、伊藤順子、平野和江、森田智佳
北野谷富子
- 4 欠席委員 中根万理
- 5 オブザーバー 柊 通安（亀玉協働センター職員）出席
- 6 学校支援コーディネーター 町田和代
- 7 学 校 河内浩（校長）、吉川利行（教頭）、阿部泰幸（教務・CS担当）、
今井忍（いじめ対策コーディネーター）、村瀬美恵子（CSディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 村瀬美恵子（CSディレクター）
- 10 協議事項
 - （1）学校運営構想について
 - ①学校運営構想の説明 ○学校の現状 ○令和7年度学校運営構想
 - ②改善案の検討 ③承認
 - （2）学校いじめ防止基本方針について
 - ①学校いじめ防止基本方針の説明 ②改善案の検討
 - （3）学校運営協議会の方針について
 - ①学校運営協議会の方針（案）の説明 ②改善案の検討
 - （4）学習ボランティアについて
 - （5）夢育やらまいか事業について

11 会議記録

本会は、委員7名のうち6名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

今年度の会長に太田委員が就任した。太田会長は挨拶として、卒業式と入学式の感想、子供の成長に向けて学校、家庭、地域が一丸となり推進したいとの抱負を述べられた。

続いて、河内校長の挨拶では、今年度も落ち着いてスタート、特に1年生の保護者の寄り添いに感謝し、今後のスポフェス、防災、体育館トイレ工事（バリアフリー）話があった。

新学校運営協議会委員の北野谷富子委員と中根万理委員に任命書が渡された。

続いて学校運営協議会規則について教頭から説明があった。特に、本協議会の目的、守秘義務について確認した。

その後、自己紹介と授業（休み時間含）参観の感想を述べた。

- ・ 児童の成長ぶりを嬉しく思った。（伊藤委員）
- ・ ノートの基本的な扱い方の指導、タブレットを使用した授業が良かった。（平野委員）
- ・ 児童が落ち着いていた。すれ違う際の挨拶が気持ち良かった。（森田委員）
- ・ 児童が大きくなった。休み時間では児童の普通の姿が見られた。（柊オブザーバー）
- ・ わかばとなかよしの学級の児童の落ち着いた姿に安心した。ほっとするうむの児童の様子を見たかった。タブレット使用時には補助員がほしいのではないかと。（北野谷委員）
- ・ 自由に生き生きと勉強する姿が「すごくいいな」と思う。指導に感謝する（渡邊委員）
- ・ 先生が寄り添い一つ一つ説明をしていた。いい風に勉強していた。（太田会長）

今年度の副会長は、委員のうちから太田会長が渡邊委員を指名した。全員、異議なく

これを承認した。

議長は、名簿の順番で、会長が渡邊委員を指名した。全員、異議なくこれを承認した。

議長の指示により、太田会長が前回会議録と令和6年度協議会自己評価の議事内容を読み上げた。委員全員で確認し、異議なく承認された。

(1) 学校運営構想について

学校の現状と令和7年度学校運営構想をプレゼンテーションで河内校長が説明した。

児童数 292 名で全学年2学級。昨年度、学校運営協議会で話し合っていた本校の強み(成果)や課題をふまえて、教育活動を推進する。

学校教育目標「自ら考え みがき合う子」(主体性と協調性)とし、たくましい子・かしこい子・やさしい子を育てる。

教育推進にあたり、キャリア教育の推進(よりよいじぶんになるために)、授業改善、教育の情報化(PC活用、教育DX)、発達支援の充実、いじめの予防、安全教育(防災教育)、コミュニティ・スクール(6年目・学校支援)、働き方改革の推進をする。

委員からは、下記の発言があった。

- ・授業参観時には、一緒に考え意見を交換しながら学び合う児童の姿を見た。幼い頃から考えや意見を発言する勉強はすごくいいなと思う。(渡邊副会長)
- ・学校運営構想を、グランドデザインを基に分かりやすく説明していただけた。(太田会長)
- ・親が子供を一生懸命に育て、地域がそれを支える方式は良いと思う。(渡邊副会長)

○河内校長から、各家庭に学校運営構想(グランドデザイン)を配布し、保護者・児童に説明し共有して推進し、年2回の学校評価につなげていく予定との説明があった。

委員全員で確認し、異議なく承認された。

(2) 学校いじめ防止基本方針について

学校いじめ防止基本方針をプレゼンテーションで今井いじめ対策コーディネーターが資料に沿って説明した。

いじめの表れとしての具体例の紹介がされた。その後、いじめの未然防止、早期発見に努めること、いじめへの対応について、地域や家庭、関係機関との連携を進めていくという説明があった。また、年間計画に沿い、月1回のはあとチェックと年2回のアンケートを実施したり、校内いじめ対策委員会(月1回・随時)で組織的に対応したりしていくという説明があった。

委員からは下記の発言があった。

- ・早期発見のアンケート(タブレットの活用)の実態はどうか。
- ・傷つきやすい現代の子供の姿はどうか。加害児童へのケアとメンタルはどうか。
- ・まずは、被害者の保護をして、加害者には聞き取りをして、いさめることが大切だと思う。公平に相互の事情を聞き取ることに気を配ってほしい。
- ・「いじめていませんか」の問いで「いじめてはいけない」との認識が生まれてほしい。

○今井いじめ対策コーディネーターからの回答は、

- ・早期発見に向けて月1回の「はあとチェック」と年2回のアンケートを実施し、未然防止につながっている。
- ・子供たちの気持ちを配慮しながら、被害者ファーストの精神で対応している。また、保護者の了解を得ての聞き取り調査の実施を随時している。いじめに対する認識を保護者、子供に深めてもらうように努めている。
- ・現代の子供は限られた人間環境で育ち、集団生活での友達との会話に傷つき、いじめ

の被害者になることがある。現場で校内いじめ対策委員会（随時）を開き、被害者と加害者への対応をし、現場での事実の把握を大切にしている、等の実態と説明がされた。

委員全員で確認し、異議なく承認された。

(3) 学校運営協議会の方針（案）を太田会長が説明した。

本年度は、今までの取組を続けながらも、学校運営協議会の活動内容や目的を保護者や地域にさらに発信していくと共に、ボランティア活動の充実を図っていかねと考えている。

委員全員で確認し、異議なく承認された。

(4) 学習ボランティアについて、町田学習支援コーディネーターが説明した。

「あらっこ応援隊」（公式 LINE を紹介）昨年度の活動報告に加えて、今年度の活動計画が紹介されて、4 月当初 1 年生の給食手伝いと下校指導、安全ボランティアに協力を得たこと、今後、休日や学校閉庁日のウサギの世話については、委員の意見を活かし、募集の案内を家庭、中学校、地域に呼び掛けて、理解と協力を得ていくことで、委員全員で確認し、異議なく承認された。

(5) 夢育やらまいか事業について、吉川教頭が説明した。

コミュニティ・スクールの広報やボランティアの拡充、児童の授業の充実といった内容の為に執行していくことについて、下記の内容が紹介された。

- ・ 情報発信や周知方法の工夫による地域の協力とボランティア数の増加
 - ・ 学校運営協議会への積極的な参画及び学校、家庭、地域の信頼関係の更なる構築、関係機関との連携
 - ・ 学校教育活動を充実させるために必要な分野の地域人材の発掘と積極的活用
- このことについて、委員全員で確認し、異議なく承認された。

12 連絡事項

(1) 学校運営協議会の計画について、阿部教務から説明がされた。

PDCA：ステージ制ロードマップ（スタート・チャレンジ・チェンジ・ステップアップ）を回しながら、4 回の協議会を絡めて進めていく。

(2) 学校年間教育活動計画（案）に沿って、阿部教務から説明がされた。

特に、自ら考える力を伸ばす機会をつくっていくこと、スポーツフェスティバル等の行事を絡めながらバランスよく実施し、2 回の学校評価で改善を図っていくと紹介された。

(3) 連絡方法について、吉川教頭よりお願いがあった。

さくら連絡網を活用する。

次回の開催は、6 月 3 日（火）を予定し、議長は名簿順で伊藤委員が受理された。